

## 第三者評価結果報告書

### ①第三者評価機関名

特定非営利活動法人 市民セクターよこはま

### ②施設・事業所情報

名称：ひびき金港町保育園	種別：認可保育所
代表者氏名：遠藤 明子	定員（利用人数）： 60名
所在地：〒221-0056 横浜市神奈川区金港町7-6	
TEL：045-450-4188	
ホームページ： <a href="http://www.sodachinomori.com/">http://www.sodachinomori.com/</a>	

### 【施設・事業所の概要】

開設年月日 2017年4月1日		
経営法人・設置主体（法人名等）：社会福祉法人 そだちの杜		
職員数	常勤職員： 21名	非常勤職員： 10名
専門職員	看護師 3名	
	栄養士 2名	
施設・設備 の概要	(居室数)	(設備等)
	保育室6室、厨房1室、事務室2室、医務室1室、職員休憩室1室、ホール1室、予備室	屋上庭園、ヒノキの床

### ③理念・基本方針

#### 保育理念

- I. 子ども一人ひとりを大切にし、保護者と共感しあいながら保育をすすめ、地域・社会に貢献できる保育園を目指します。
- II. 基本方針は子育ての科学に基づき、ヒトとしての生体の生活リズムを守り育て、発達を保障する保育。明るく、楽しく、元気よく生活出来る保育。

#### 保育目標

- ① 早寝・早起き・午前昼寝の実践
- ② 基礎的なからだの動きを育てる
- ③ 自己肯定感・生きる意欲を育む保育
- ④ ノーマライゼーションの理念に基づき、障がいのある子もない子どもも、ともに楽しく暮らす

### ④施設・事業所の特徴的な取組

ひびき保育園のモットーは「早寝・早起き朝ごはんの実践、明るく 楽しく 元気よく」です。  
園では子育ての科学として「眠り」の大切さを重要事項説明書の中で ①成長ホルモンは夜の深い眠りに関係しながら分泌されます。 ②眠りにつく時間によって大きく違うホルモンの分泌 ③早寝・早起きで意欲的な子どもに ④まず、朝しっかりと起こします。を掲げ、夜の眠りを保障するため昼寝は午前中1時間程度の午前睡を行っています。また、園説明会では紙おむつではなく布おむつを使用する説明を行い、園で用意して布おむつを使用しています。そしてアレルギーに配慮して卵を使わない給食とおやつを提供しています。

活動では毎朝の雑巾がけとハイハイ運動を中心としたリズム運動や散歩は遠い公園を選んで長く歩くことで体力づくりを行っています。また、戸外活動では草履をはくなど楽しくからだを動かすことを大切にしながら、基礎的なからだの動きをしっかりと身に付けるように努めています。

保育目標で「ノーマライゼーションの理念に基づき、障がいのある子もいない子どもも、ともに楽しく暮らす」を掲げ、障がいのある子ども、医療的ケアを要する子どもが自然とクラスに溶け込めるように配慮しています。

## ⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2019年4月22日（契約日）～2020年3月18日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	1回

## ⑥総評

### ◆特に評価の高い点

1. 子どもたちは保育士に見守られながら安心して自分らしく元気いっぱい体を動かし、園生活を楽しんでいます

子どもたちは、毎朝、広いホールの雑巾掛けで体を動かしたり、リズム体操で音楽に合わせて自分の気持ちを身体や表情でのびのびと表現しています。散歩では、身体を使った遊びを楽しんだり、季節の植物や生き物と触れ合っています。保育士は、子どもの発見と一緒に喜んだり、遊んだり、新しい遊び方を提案しています。決して無理強いせず一人一人に寄り添っています。このように保育士に見守られながら安心して子どもたちは自分らしく元気いっぱい体を動かしのびのびと園生活を楽しんでいます。

2. 職員を大切にしながらサービスの質の向上に努めています

園長は日ごろから職員一人一人とのコミュニケーションを大切にしています。普段のコミュニケーションから職員の趣味等を把握してそれを大切にするように伝え、希望する有休が取り易い環境を整えたり、変則なシフトに対応した職員にはシフト手当を支給しています。また、園内研修に力を入れていて「保育士倫理綱領」「新しく入職する皆さんへ」「専門職としての保育士として」「私たちの保育を考える」等で「期待する職員像」を明確にして繰り返し職員に説明しています。そして保育士が必ず一つは所属する研究会を発足させ、保育士の経験年数の組み合わせを調整した上で「戸外環境」「室内環境」「うた・わらべうた」「見せる同好会」「絵本研究会」の5つの研究会に分かれて研究しその結果を発表しています。外部研修には必ず職員一人1回は研修に参加するようにしています。このように職員を大切にしながら園全体のサービスの質が向上するように努めています。

3. 障がい児や医療的ケアを要する子どもたちを受け入れる体制が整備されています

園長は横浜市東部地域療育センターの運営委員をしています。そうした中、医療的ケアを要する子どもたちを受け入れが可能な保育園のニーズが高いことを実感し、園では非常勤の看護師を3人配置し、機器としては座位保持椅子の購入、酸素吸入機の設置などを行うことで安全な環境を整え、障がいのある子どもと保護者・保育士が安心して保育できるようにしています。園の活動は他の子どもたちと基本は一緒に行います。ただ、リズム体操など一緒に参加できない場面では担当している保育士が個別に対応し子どもの様子を見ながら参加を促しています。子どもたちも保育士のありのままを受容する姿勢を見ているので自然にクラスの仲間として受け入れています。

### ◆改善を求められる点

1. 社会の情勢や地域ニーズを把握した中長期計画の策定が望まれます

運営法人全体で中長期計画は策定されていません。理事会や評議員会では放課後デイサービス事業などの、今必要なサービスについては検討していますが計画策定までには至っていません。園でも単年の事業計画のみです。運営法人で中長期計画を策定し、園でも法人の中長期計画に沿って社会の情勢や地域ニーズに合った中長期

計画の策定が望まれます。

#### ⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

園児 25 名 職員 11 名で始まった保育園の開所から 3 年が経とうとしています。法人設立から 3 園目に当たる事業所であるため、これまでの他園での実践がある程度生かされてはいますが、この間の保育や業務の振り返りを行い、今後の課題を明確にするため第三者評価を受審いたしました。

法人としての中長期的計画や人材育成のシステムを含む総合的な人事管理など不十分な点が明らかになった部分については今後改善する努力をしていきたいと思ひます。また、事業所として保護者が苦情や意見が言いやすい環境の構築にも十分に配慮をし、保護者アンケートで寄せられたご意見につきましては一つ一つ真摯に受け止め今後の対応に生かしていきたいと思ひます。

アンケート集計では満足が 85.1%どちらかと言えば満足が 14.9%と、ほぼ 100%の満足度をいただき、まだまだ未熟で至らないところも多々ある保育園に、これは「頑張れ！」の励ましをいただいたのだと思ひています。

保護者の方々のコメントから学び、子どもたちを囲むすべての環境にいる皆さんと手を携えて、より良い保育園づくりに職員一同力を合わせてこれからも邁進していきまひます！

ひびき金港町保育園 園長 遠藤 明子

#### ⑧第三者評価結果

別紙 2 のとおり